

2022年度 日本工学院専門学校											
I Tスペシャリスト科											
校外研修 6											
対象	3 年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	中西真也			実務 経験	無	職種					
担当教員紹介											
システム開発会社にてシステムエンジニアとして約7年間CADシステムの開発や携帯電話の組込みシステムの開発を担当した実務経験を持つ。また本校にてプログラミングからシステム開発に至るまで数多くの実習科目を担当してきた経験も有する。											
授業概要											
IT業界は日々成長を繰り返しており、入学時に最新技術であったものが、卒業時点では陳腐化していることも起こる。そのため、自身の就きたい仕事について常にアップデートしながら必要となる追加技術を調べ、目標に向かって努力をしていく必要がある。本講義ではIT関連の展示会や講習会に参加して最先端のIT企業が提供しているサービスや製品について知り、自身の目標を更新していく。また、就職時に必要となるコミュニケーション能力についても企業様への質問を通して学んでいく。											
到達目標											
イベント参加前に、ブースの出展情報や説明を聞いてまわる順番、説明資料の疑問点について十分な検討を行い、資料化することができる。また、イベント参加時には企業様の説明をメモを取りながら聞き、疑問点に関しては相手に伝わるように質問することができる。また、これから社会人になる立場として適切な立居振舞ができる。最後に、イベント参加後にはイベントで得た情報を資料にまとめ、他人に説明することができる。											
授業方法											
校外で実施されるITの展示会や講演会に参加し、最先端のIT企業ではどういったサービスや製品を提供しているかを知り、自身の進路にフィードバックをする。また、展示会・講習会前には出展ブースや講演会の内容を調べ、疑問点などを資料にまとめることで効果的な研修とする。展示会・講習会後には自身が学んだ知識をまとめ、他人の前で発表することで情報の適切な伝え方についても学ぶ。											
成績評価方法											
試験 0% 課題 0% レポート 50% 授業内容の理解度を確認するために実施する 成果発表 50% 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する 平常点 0%											
履修上の注意											
研修をより有意義なものとするため、積極的な参加姿勢(質問など)を重要視している。また、社会への移行を前提とした受講マナーで参加し、展示会・講習会中の私語や受講態度などには厳しく対応する。(詳しくは初回のガイダンスで説明する。)理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受講することができない。											
教科書教材											
毎回資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	ガイダンス 事前に準備しておくべきことを理解できる										
第2回	事前準備(1) 出展ブースについて調べ、疑問点を整理できる										
第3回	事前準備(2) 出展ブースについて調べ、疑問点を整理できる										
第4回	事前準備(3) 出展ブースについて調べ、疑問点を整理できる										
第5回	企業説明へ参加(1) 説明を聞き、企業様に伝わるように質問ができる										

2022年度 日本工学院専門学校	
I T スペシャリスト科	
校外研修 6	
第6回	企業説明へ参加(2) 説明を聞き、企業様に伝わるように質問ができる
第7回	企業説明へ参加(3) 説明を聞き、企業様に伝わるように質問ができる
第8回	企業説明へ参加(4) 説明を聞き、企業様に伝わるように質問ができる
第9回	企業説明へ参加(5) 説明を聞き、企業様に伝わるように質問ができる
第10回	企業説明へ参加(6) 説明を聞き、企業様に伝わるように質問ができる
第11回	企業説明へ参加(7) 説明を聞き、企業様に伝わるように質問ができる
第12回	企業説明へ参加(8) 説明を聞き、企業様に伝わるように質問ができる
第13回	資料作成・発表(1) 校外研修の内容を資料にまとめ、発表する
第14回	資料作成・発表(2) 校外研修の内容を資料にまとめ、発表する
第15回	資料作成・発表(3) 校外研修の内容を資料にまとめ、発表する